大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可 (夕刊) 八日發行 昭和八年四月九日 新京日日新聞 (日曜日) 第三千六百九十二號 (一)

夕刊
新京日日新聞
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河泉忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

煉瓦饑饉に備へて 窯業界總動員
一億に達する見込み

愈々建設期に入つて建築諸材料は今や新京目がけて殺倒の盛況にあり土建界の工事落札も既にその大半を了してゐるが、煉瓦は

＝本年＝ は昨年の六千萬個に比し一億個を要するさ見込まれ目下異常の關心を以て土建界注視の的となつてゐる、今や當業者は窯の修補增築並に準備に忙殺されて居りその一齊燒出しは六月中頃さ見られてゐるが從來の吉長、新京、長春、松龍、松村、福昌兩嶺の各窯業中、吉長を除いて全部增築擴張中である、本年開始すべきものは安東、營口瀨下の各窯業だが、これさは別に土建協會も大々的に計劃中である、右は殆んど赤煉瓦であるが昨年度の生產額は、吉長七百萬、長春一千萬新京四百五十萬、松村二百萬、福昌三百萬餘以上略三千萬であつて黑煉瓦は主さして滿洲人に利用されお窯本六十餘は何れも滿人經營で昨年度生產黑煉瓦は三千萬個となつてゐる、而して本年の生產能力は吉長及松村は昨年の儘さして增築擴張による吉長一千五百萬、新京一千萬、松龍五百萬、福昌五百萬さ豫想、それに新會社及土建協會が三千萬を生產するさ云ふ計劃で、これに滿洲人經營窯全體の三千萬個を加へれば其の全生產能力一億に達し本年土建界の所要見込さ

＝一致＝ することになるが、その生產能力は極めて順調に全生產が發揮し得られて初めて可能となる譯だ

煉瓦の供給及價格の統制を協議す

愈々建設期に入つて建築諸材料は今や暴騰の傾向にあり、これが價格統制は一般土建界のみならず

＝各種＝ 機關共其必要を痛感されてゐる折柄、國都建設局では建設事業の圓滑促進を期するため、さきに先づ砂の價格統制に着手し、採掘及び販賣人を指定して標準價格を協定したが、本八日午後一時煉瓦窯業者を招致し、陸軍經理部長特別市長、憲兵隊長、新京地方事務所長等立會の上、需要並びに生產供給及び價格等に關する統制問題を懇談協議する、因に煉瓦は六月中頃より漸く生產供給されるが現在全くストツクなく、僅に黑煉瓦の燒殘りがあるばかりで、目下四平街、公主嶺より應急的に供給されてゐる有樣で、生產期までの繋ぎがある

＝意味＝ から非常に苦慮されてゐる

日華實業協會 日支關稅互惠協定につき協議

【東京七日發國通】日華實業協會では七日午後一時事務所で幹事會を開き、兒玉會長以下出席、船津氏が支那の近況さ日支關稅互惠協定を報告し協議の結果來る五月十五日期限滿期となる互惠協定は日下支那の態度からみるさ協定繼續は困難で、之が廢棄後固定稅率實行せば各國一樣に適用され、實施後は我國は大打擊を受け影響甚大だから政府の善處を希望するさいふに意見一致した

外國貿易 統計月報發行

滿洲國財政部發行大同二年一月外國貿易統計月報は大連稅關貿易統計處から發行された今後每月定期刊行される定價國幣六角

露國商品輸入禁止法案 壓倒的多數で英下院通過

【ロンドン六日發國通】四日英國下院に提出されたソヴイエツト商品輸入禁止法案は六日二百九十一票對四十一票の壓倒的多數を以つて可決され直ちに上院に硘付されることゝなつた

英蘭銀行の地金 未曾有の巨額

【ロンドン六日發國通】五日現在英蘭銀行週報によれば、同行の金地金保有高は前週より更に四百七十萬磅增加、一億七千七百四十萬磅さ言ふ未曾有の巨額に達した

海運海保の紛爭 關係者協議

【東京七日發國通】海運、海保間に紛爭中の海上保險基準約款の解釋につき八日午前十時海上ビルで商工、遞信並に船主協會、海上保險協會代表出席協議する事さなつた

米國の失業者救濟法

【ワシントン六日發國通】米國上院は一週卅時間勞働制案を六日五十三對三十で可決、直ちに下院に硘付した、右は時間制限で數百萬の失業者に職を與へんさするものである

準備銀行 割引步合引下げ

【ニユーヨーク六日發國通】ニユーヨーク準備銀行は六日公定割引步合を三分半から三分に引下げた

十二月一日現在 失業者四十六萬三千餘人

【東京七日發國通】內務省社會局調査に依れば昭和七年度十二月一日現在に於ける全國失業者數は四十六萬三千四百二人で同年十一月一日現在の四十八萬四千二百十三人に比し二萬八百十人少なく二割八分の減少である

熱河省事情 〔宇〕

阿片吸飲取締

阿片取締即ち禁煙策、所管官廳が禁煙局さ云ひ、外面は恰も禁煙取締を勵行してゐる樣であつても、內容は純然たる阿片稅徵收機關に過ぎないのであつて、盛にその栽培を獎勵しつゝある、從つて阿片吸飲上何等取締が無いのは無論であるが只自家吸飲者及煙館さも煙燈一個に付每月現大洋二元の燈捐を公安局に納める時は無制限に且つ自由に吸飲し得られるのである、但し實際に於て右稅金を納めるのは煙館業者だけであつて自家吸飲者は一人さして納付する者はないさ云ふ

農法 農法は大體に於て之を蒙古人農法さ漢人農法に二大別する事が出來る

一蒙古人農法 蒙古人は農業を營む者は少いが、彼等の唯一の財產である生畜を有しないか、或は其の所有數が少くこれによつて生活する事を得ない者は止むを得ずして農耕に從事する、其農法は極めて原始的で普通草原中の地味肥沃な處を求め、極めて粗放に其地を耕作し、地力のあらん限り糜子を連作して數年後地力が衰耗するに及べば此地を捨てゝ更に他の新地を求めるさいふ掠奪農法である

二漢人農法 漢人の農法は更に之を休閑農法さ輪作農法の二種に區分する事が出來る、此の兩法は各地に相混淆して行はれるが、大體に於て休閑法は西南部地方に專ら行はれ輪作法は東北部の滿洲接壤地方に多く營まれる。是れは西南には山西の移民が多く東北には山東の農民が多いからである

休閑農法には不規則なものさ稍々規則的なものさがある後者の中、最も多いのは三圃農法である、即ち圃場を三分し每年三分の二づゝ耕作し、三分の一を休閑せしめる、此の割合は必ずしも規則的でもなく、地方によつては豐作の見込がある時は三分の二を耕作し、三分の一を休閑するが、若し氣候不順で凶作の憂がある時は三分の一を耕作し、三分の二を休閑して無效の勞力及費用を節約する

輪作農法は土地及地力の利用上から見ても、農民知識の活用上から見ても、蒙古に於ては最も進步した農法である其方法は滿洲地方のものさ大差なく、普通行はれるのは高粱、穀子、黃豆の三年輪作である

因に、熱河、平泉間では水田が行はれてゐる

「熱河に至る街道なれども甚左手に即ち東方の道路を進む道路の右方低地一面水田あり五六頃地を有せりさ聞く、水泉(十五戶)二里、水は灌さする水は村落の東方山中にある貯水所(天然)より引導するものなり、村落の名稱も之に起因せしにはあらざるか、水田耕作の方法は約六間に三間位に疊形に區劃し水は一區々々の內を流れ必要の分だけを流れ込ましむ、一畝地に二升の種子を下し三四斗の籾を收穫すべし」(中部內蒙古調査報告)

農牧地帶さ將來 熱河省を農牧上より見れば左の三地帶に大別する事が出來る

牧畜地帶 昭烏達盟の北部

農牧混交地帶 昭烏達盟の蒙古人漢人混住 中部 漢人

農業地帶 昭烏達盟の南部卓索圖盟の中部 漢人

今や牧畜地帶にある朴訥な蒙古人は、狡猾で貪慾な漢人に不當な債務を負はされ、その辨償の爲め唯一の財產たる家畜を賣却の餘儀なきに至る、中國官憲の見ゆる辛辣な壓迫に堪へ兼ね外蒙古方面に移住する者多く、漢人の農業地帶擴大に反比例して蒙古人固有の遊牧は次第に衰滅に歸しつゝある現狀である

併し、由來蒙古地帶は氣候の激變に富み、安全な農業地でないのさ、一つは曹達地、濕地、砂丘及傾斜急峻な山岳地等不可耕地が少くない從、利に敏い移住支那農民は日常生活の基礎を單に本業たる農業の上にのみ置かず、副業さして牧羊業を營むものが多くしかも此の傾向は農業地帶中比較的進步した熱河地方に於て最も盛なさころを見れば、たさへ將來蒙古地方の遊牧は衰滅する事があるさも副業さしての畜產が之に代り、羊毛の如きは永く蒙古の特產物たる事を失はないであらう、これは要するに內蒙古方面は既に畜產の時代を去つて農業の時代に入り、僅かに北邊の一隅に名殘をとゞめてゐる純牧畜業も、現今の趨勢を以てすれば、近く衰滅に歸する事は免れないであらう、斯くして蒙古地帶は穀菽農業を主とし牧羊乃至牛馬を副さする所謂農牧混同組織の支那人農業地域さ化するであらう事は容易に想像されるさころである

怪人凱歌 (百八十八)

(禁上演映畫化) 須藤鐘一
(畫) 瀧秋方

勝利 (十二)

「ゐますよ。立派に成人してゐます」

と、いふ黑影の言葉に、關子はたゞ驚くばかり。

「……さうですか、そして今どちらにゐるのでございませう?」

「あなたの二人の子供と一しよに仲よく暮らしてゐます!」

「まア、それはほんとうでございませうか?」

關子は聞ひかへさないではゐられなかつた。そんな不思議なことが、果はして此の世の中にあるものだらうか、そんな事は小說か物語りにしかあらうとは思はれぬ。で、どうしても黑影の口から出まかせの出鱈目か、でなければ、今現に聞いたりしやべつたりしてゐることが、みな夢であるにちがひない。……彼女は又しても呆然として相手の方を見つめるのみ。

「第四は、今晩此處に來てゐる宮島正雄の一件ですが……」

と、黑影は、構はず續けるのであつた。

「……あ、あの宮島さんは、ちつとも何にも御存じないんですから、どうぞ……」

と、關子が慌てゝ相手の言葉を押しとめようとするのを、黑影は耳にもかけず、

「まアお聞きなさい」と、おだやかに制して「すべてのことを僕はよく知つてゐるのです。宮島が何者で、二人の間が如何なる關係にある事まで、すつかり承知してゐるのです」

「まア、どうしませう。……」

と、關子はうつむく。

「……いや、それだから今後一さい逢つてはならぬといふやうな野暮な事は云ひません。――僕も斯う見えても多少の粹も情も解してゐるつもりですから……」

「…………」

關子は相手が一體何を云ひ出すのか、さつぱり豫想がつかない。きつと二人の關係を責めて手きびしい懲しめを加へるのであらうと思つてゐたのに、さうではなくて此の場合に甚だふさはしくない、粹といふやうなことを云ひ出したので、言葉につかへてしまつた。

「二人の交りには眞實の戀愛の影を認めることが出來るのです。それは醜なる肉慾だけの爛れた情慾ではないやうです。眞に切なる心と心との結合の戀を見ることが出來る。それは世に貴くも美しい現象。僕はそれをなくてはならぬ。僕はそれをおもひません。二人の仲をまで引き裂かうとはおもひません。又僕にそれほどの權利も力もないのですから……」

黑影は、たうとうこんなことを云ひ出した。

「どうも恐れ入りました。……」

關子は耳たぶまで赤くなつて、微に斯う云つた。

「たゞ、度を越えないやうにして二人の間に美しい戀愛をつゞけてほしい。――此の事については、いづれ後ほど離座敷へ行つて、宮島ともよく話して見るつもりですが……」

此の時、靜かにうしろの障子が開いた。

室內の二人はハツとして其の方を振り向いた。と、

「其のお話しといふのを、私が伺ひませう」

と云ひながら、入つて來たのは宮島正雄であつた。

「立ち聞きは失禮と存じましたが、然し、わたしの遂に出る所ではないやうな氣がして、今まであちらの廊下に控へてをりました。が、唯今私の名前も引合ひに出されましたやうですし、失禮を顧みずこゝに推參いたしました」

丹前の上に羽織をかさねキチンと其處へ座つて丁寧な言葉づかひ。

「や、深夜をお騷がせしてすみませんでした」

と、黑影は案外おとなしく云ひながら、入口の方へ向きなほつた。

「故あつて僕は今名乘はしませんが、斯うして無斷で人の家に入りこんだのは、決して賊を働からの人を傷つけ樣のといふ考へではない、毛頭ないのですから、その點は安心してゐて下さい――。だが、人一倍正義を愛し、邪惡を憎むところから、どうしても道に外れた人を見ると、どうしても其のまゝに見のがせないのが僕の性分です。實は其のため、こゝへもお邪魔したのです……」

がこゝまで話して黑影はあらためてジロリと宮島の方へ鋭い眼光を注いだ。

蘇聯貨車百六輛を又復露領に持去る
滿洲國側不法行爲に激昂し嚴重抗議の上阻止

〔ハルビン七日發國通〕東支鐵道ソヴィエット側は機關車等の返還に關する森田司長との約束を履行せざるのみか、六日又復百六輛の貨車を滿洲里より露領に持去つたが、滿洲國では重ねがさねの不法行爲に激昂して、ソヴィエット政府に嚴重抗議を發すると共に斷然之を阻止する事となつた

秦皇島の引渡し圓滿解決の見込み

〔山海關七日發國通〕秦皇島に這入つた親滿義勇軍の有力な一枝隊は同地を去る西北方一邦里の大劉莊部落に到着し軍使を秦皇島に派遣し第六百二十五團第一營長李某と秦皇島の開城方を交涉中であるが第一條件たる武裝解除の點に就き秦皇島側に難色あり、今朝來引續き交涉を進めてゐるが、結局秦皇島は兵禍をうくることなく圓滿に引渡しを了する見込みである

東北將領の橫暴に
親滿軍へ寢返るもの續出

〔山海關七日發國通〕海陽鎭の第一線に於て親滿義勇軍の進出を阻止すべく活躍せる騎兵第四〇團は李際春總司令の救國主義に共鳴他方東北將領連の橫暴に嫌氣を感じ、右親滿義勇軍に寢返つて來たが他にも續出の有樣である

熱河擾亂を企圖する支那軍

何應欽は北平から蔣介石の召電に接したので何は南京系の少壯なる參謀の强固なる意見を採用し、關內に在る正規軍、中東軍をおして長城線に在る我軍に逆襲を繰返し西方の察哈爾の方からは正規軍、僞勇軍をもつて攻勢に轉じ熱河の擾亂を企圖し、多倫附近の湯玉麟と孫殿英に部隊の整頓を命じてゐる、一方これが爲に何應欽は孫殿英との意見の疏通を缺く事を憂慮ししきりに連絡を保つてゐる、又北平に居る湯玉麟の長男湯佐榮に湯玉麟の[illegible]を內報して湯の慰撫に勵み力を注いでゐる、又何應欽は多倫にゐる山西騎兵軍長趙承綬に先に日滿軍に歸順した劉桂堂を捜査する樣に命令を發したと傳へられてゐる

李軍武裝を解除されるか

〔山海關七日發國通〕秦皇島警備のため同地に殘れる李營長は豫ねて開灤礦務局支那側重役と親交あり、部下兵士を開灤礦務局の請願巡警として殘存せしめることを條件に武裝解除に應ずる意向を有してゐることと略々確實となつた

灤東の支那軍用列車急に活動
海陽鎭を奪回すべく

〔山海關七日發國通〕前線の總指揮する親滿義勇軍に各地占據されたりとの報告を受くるや、直ちに何柱國に對し部下各軍隊をして海陽鎭奪回を嚴命した、之がため何柱國は灤州に待機中の部下軍隊に對して撫寧方面へ出動を命じたので、昨夜より今朝にかけ灤州以東に多數の軍用列車が動いてゐると

支那紙社說で日本兵を演めぬく

〔北平特電〕天津タイムスに秦皇島北戴河方面にある支那軍の暴狀について外人の寄書にもとづき左の如き長文の論說を掲げてゐる

全線各地所在の支那兵は國防の爲の戰爭にあらず、して同胞の財產を掠奪する事を目的として居る、これが爲住民は日本兵よりも寧ろ自國兵を敵視してゐる現狀にあり、かゝる如き現象は支那ならでは見られぬ事である、日本兵がその住民に敬慕せられるのは當然の事で支那が若し眞に國防の實をあげんと欲したなら第一に軍隊を改造し然る後に舉國一致國防に當らねばならぬ、なほ北支那熱河を視察した外人の多數は、日本軍の行動を禮讚してゐる、從來やゝもすると色眼鏡をもつて見る外人がかくの如く好轉した事は注目にあたいする

便衣の支那逃亡兵
秦皇島方面を騷がす

〔山海關七日發國通〕秦皇島山海關は便衣に着換へた逃走兵が橫行市民や通行人を掠奪し、同地方は大混亂に陷つてゐる

鐵道以北の支那街大混亂

〔山海關七日發國通〕在秦皇島第六百二十六團第一營は今更になつて武裝解除を拒み正午まで解除交涉纏らず鐵道以北の支那街は或は一大混亂を免れざる形勢となつて來た

小山法相が遂に
留任決意迄の經緯

〔東京七日發國通〕小山法相の齋藤總理に提出した辭表は改めて小山法相に返され、小山法相も之に應じて辭意を翻し留任する事となつた

抑々右辭表は五日小山法相が齋藤總理を訪問した際提出され齋藤總理は昨日宮中に參內侍從武官長親補式後　天皇陛下に拜謁仰付かり右辭表を捧呈し、併せて此種の責任に依り一層國務に精勵すべき旨を上奏し、天皇陛下より齋藤總理に對し法相の辭表を下げ渡され、齋藤總理は右に就き小山法相を今朝招いて右の聖旨を傳へ、小山法相も遂に辭意を翻し、宮中へ參內御禮言上し留任と決定したものである

法相の留任と政府側の辯明

〔東京七日發國通〕齋藤首相が一存を以て小山法相の辭表に對し上申書を添へて奏上、優諚を拜したるに對し、政府首腦部は左の如く辯明して居る

首相が法相の辭表に對し上申書を付して上奏したるに對し、種々の意見を述べる者あるが、それは內閣總理大臣として責任上當然の事であつて國務大臣の辭表といふものは必ず執奏する外ないものである、首相としては司法官の赤化事件に對して司法大臣が責任を負ふて辭任すべきものでなく進んで司法部內の綱紀を肅正し、斯る惡思想は未然に防止するといふ事が眞に法相としての責任を完ふする所以であるとの見解を持し上申書を上奏したもので、それは內閣總理大臣として當然なすべき事を爲したものであつて、袞龍の袖に隱れ內閣の延命を圖つたものではない

法相司法官不祥事件剿滅に努力を決意

〔東京七日發國通〕七日の定例閣議は午前十時半より開會首相以下各閣僚出席首相より改めて法相より司法部內に生じたる赤化事件の爲其責を負ふて辭任したきに就き辭表執奏方申出でがあつたので慰留に努めたが法相辭意堅固なるものあり依つて法相の辭表を申達すると共に首相の意見として此種の不祥事件の剿滅を期するため進んで此の後の對策に努力せしめ度い依つて辭表を却下せしめられ度い旨上奏したる處、陛下には首相の意見を御嘉納になつたので法相は天恩の厚きに感激して留任し今後の對策に努力することを決意した旨報告し各閣僚もこれを諒とし正午散會した

各派の意向

〔東京七日發國通〕小山法相が優諚を拜し留任となつた事情に關しては、閣內に種々の意見あり、七日の閣議でも可成り問題となつたが、總理大臣が一閣僚の辭表に對し上申書とも言ふ可き私見を添へて上奏したことは全く前例の無い事であつて、第二の優諚問題として政界に異常の衝動を與へて居る右に關する各派の意向は左の如くである

政友會

首相が辭表を却下され度いとの私見を添へて其執奏方を請ふたといふことは考へやうによつては由々しき憲法上の問題であると觀られる首相が斯くの如き事に出でまでもかぢりつかんとする心事は諒解に苦しむものであるが、最早や現內閣の前途は全く風前の燈となつた、此問題をきつかけとして、瓦解の日は著しく早められるであらう

民政黨

小山法相今回の留任經過を見るに、首相が愈々時局の重大なるに鑑み、萬難を廢して邁進せんとする決意を明かに物語るものである、優諚問題に關しては首相の私見を添へて執奏した事が問題とはなるかも知れぬが首相が全責任を負つてやつた事だから內閣の運命に關するやうな事はない

國民同盟

法相辭任の根據は政治論法理論はいざ知らず、國民道德上當然首相の責任である然るに首相が所謂上申書を作成、陛下に法相の留任を請ひ奉つた如きは理由の如何を問はず眞に恐懼に堪へない次第で首相の眞意は全く諒解し難い、然し結局最近の機會に於て總辭職を決行するものとしか解釋出來ぬ

貴族院方面

首相は時局の重大性に鑑み今後更に時局を擔當する意向を以て進み、元老の見解亦其邊に在るため、閣內の動搖を最小限度に防ぎ一致結束して行かんとする意向の一端を極めて明瞭にしたものである、從つて今後藏相の辭意表明に對しても極力留任を勸誘して及ばざる時は藏相の後任を政友側に求めるものと豫想され、此際政友側の出方如何が政局を支配するものと觀られて居るが現內閣が此際永續するものとは思はれない

樞府側

〔東京八日發國通〕法相の留任問題に關して樞府側は左の如く觀測してゐる

法相が辭表を提出したのに對して首相がこれを執奏するに當り內申書を上奏、優諚を拜して留任せしめたことは首相としての責任上當然のことであり憲法上何等問題となるべきものは無い、司法官の赤化に就いては必ずしも責を負ふて辭任すべきでなく進んで斯る不祥事件を根絶すべきであり法相が辭表を提出し、更に留任したことに就いては法相に對して私意を挾みて責任を追求するものもあるやうだが問題とするに足りない

藏相の辭表提出は四月下旬頃か
首相善後策に苦慮

〔東京八日發國通〕小山法相が優諚を拜し留任するに至り藏相の進退か最も注目されるに至つたが、藏相は去る四日首相が閑公との會見の結果に基き慰留したるに對して藏相は議會の後始末一段落迄留任することを承諾してゐる關係上四月下旬若しくは五月上旬に正式に辭表を提出することとなつてゐるので首相は之が善後策に關して苦慮してゐる

政友會
輕擧を愼みチャンスを待つ

〔東京七日發國通〕仄聞するに齋藤總理の上奏意見狀には小山法相の辭表却下されたき旨明記して居ると、從つて齋藤首相は存續のため袞龍の袖に隱れた譯であるが、之に對し政友首腦部は此際輕擧するは不利なりとし、圓滿推冠の時期來る迄自重すべしとの意見あるは注目されて居る

憲法上疑議ありと
政界で重大視

〔東京七日發國通〕小山法相の辭表捧呈に齋藤首相が、非常時の際司法部內の問題を以て責任を執る必要なしと優諚降下を奏請したに對し、從來閣僚の辭表を出す際總理自身の意見を具して上奏したる前例乏しく、閣僚の意志を問はず法相の居据りを策したことは憲法上重大疑義ありと政界に喧しい問題を起すべく、成行重大視さる

救國軍名義の親滿的ビラを撒布
何柱國軍將兵動搖

〔山海關七日發國通〕海陽鎭附近の支那軍陣地には救國軍の名義を以てする親滿宣傳ビラが無數に撒布され、滿洲出身者の王以哲何柱國軍將卒間に多大の衝動を與へてゐる

右は何軍にとつて山西軍、中央軍、舊東北軍等が決して眞の味方に非ざることを說き、四圍の情勢は親滿軍に有利だから此際同士を糾合して自由の天地を開拓しやうと言ふ主旨を强調したもので、何柱國軍中には平津地方危しとの說も盛んに流布されてゐる折柄右ビラは同軍隊を强く動かしてゐる模樣である

親滿義勇軍つひに秦皇島に迫る
李營長と引渡交涉

〔山海關七日發國通〕六日午前七時一度海陽鎭を占據せる親滿義勇軍は猛烈な敵の逆襲を支へきれず正午頃同地を放棄して退いたが間もなく有力な增援を得て再び襲擊、間もなく敵を擊退して夕刻までには完全に殘敵を掃蕩、有力な部隊は七日一時に秦皇島に迫つて同地警備の第二十五團第一營長李某と秦皇島引渡し交涉に移つた

親滿義勇軍三萬余に達す
舊東北軍續々復歸せん

〔山海關七日發國通〕海陽鎭を捨てた支那軍は北戴河の線に退き次で馬印河昌黎等に向け退却せんとしつゝある模樣だが其後各方面より滿洲國側に寢返るもの續出し親滿義勇軍の勢力は海陽鎭占據後遙かに膨脹して其數三萬と稱せられ今や北支の動搖は蔣介石の勢力を失墜せしめつゝあり、舊東北軍の滿洲國復歸も今や時期の問題と觀れるに至つた

敗退した敵兵
投降の爲山海關に

〔山海關七日發國通〕六日親滿義勇軍の海陽鎭攻擊により敗退せる敵兵は大半撫寧方面に逃走したが、一部はこれと全く反對に山海關方面に向つて潰走したといふ珍現象を呈したが、之は、山海關方面の攪亂を圖るためではなく、灤河の線へは後退困難のため親滿義勇軍に寢返るのが眞の目的で彼等の滿洲國に憧れて居る程度の實證と言はれて居る

小磯參謀長一行
熱河視察に向ふ

〔錦州七日發國通〕關東軍參謀長小磯中將一行は熱河視察のため六日奉天より飛行機で來錦、直ちに兵站幹部に入り打合せをなしたが、一行は本日天候の回復を待つて飛行機により赤峰、凌源に向ひ、派遣部隊其他を視察する筈である、一行は小磯中將の外副官秋山中佐參謀平田少佐、及軍政部顧問錦木中佐が同行する

永井駐獨大使
親任狀捧呈

〔ベルリン七日發國通〕新駐獨大使永井松三氏は七日獨逸大統領ヒンデンブルグ元帥に謁見親任狀を捧呈した

親滿義勇軍
別働隊の再起
秦皇島方面形勢險惡

〔廻馬寨七日發國通〕廻馬寨に於て敗れた親滿義勇軍の別働隊は石河右岸に歩り再起を企圖しつつあつたが約五百名の同志を集め武器も不揃ながら纒つた由で、今明日中に愈々西進すべしとの報あり、在秦皇島第六百二十五團の態度も曖昧であり、同方面の形勢は樂觀を許さぬものがある

黨部の北進と「北平人の北平」派
二派の對立尖鋭化

〔北平七日發國通〕五日朝から突如市內に現れた排日ポスターは黨部北平としては珍らしい激烈な文句を連ねたものであつたが、六日夕刻から七日にかけて右ポスターは急に姿を沒するに至つた、右は何應欽の勢力下に黨部勢力の北平扶植を策する一派と、北平は依然北平人の手によつて統治し南方人による黨勢力の進出を好まざる一派と對立し、その爭ひの結果として同じく支那人の手によつて引剝れたものである、今後の此の二派は拮抗を續け漸次その對立は尖銳化すべく、排日も遂に聲のみで當分實現し得る力ないことと明かである

窮迫白系露人
札免公司地方に集結

ハイラルにより信ずべき筋への情報によれば、北滿三河地方（ハイラル附近）近來ハルピン其他東沿線から其日の食にさへ窮する零落した白系露人陸續と移住して居る同地には一九二八年（昭和三年）以降より移住し粒々辛苦を嘗め漸く平和境を建設業に安じて居る先住移民があるので是等の新しい飢へ者が押し寄せては總倒れになる虞があるので縣行政當局者は之が對策として是等の移民團を三河南方札免公司地方に聚落させようとしてゐる

陸軍特命檢閱使決定

〔東京八日發國通〕本年度陸軍特命檢閱使は七日の宮中に於ける正式軍事參議會にて次の如く決定した

第一特命檢閱使　教育總監兼軍事參議官　大將　林銑十郎
第五師團管下各部隊官衙を檢閱する

第二特命檢閱使　軍事參議官大將　渡邊錠太郎
第十六師團管下各部隊官衙を檢閱する

尙特命檢閱使隨員は一兩日中に決定發表されることになつたが兩檢閱使は五月一日頃東京出發檢閱を了し六月上旬歸京の豫定である

我主要輸出國
關稅引上對策考究

〔東京七日發國通〕我國對外貿易は圓爲替の下落により長期に亘る未曾有の世界的不況に拘らず、他國に比較して堅實な伸張振りを示してゐるがインド、濠洲、エヂプト等我主要輸出國は、これが對策として爲替安によるダンピングして輸入稅の引上げを敢行しつゝあるが我對外貿易を漸次阻害する恐れあるので外務省通商局は當業者と對策協議中である

成都商民團結
軍閥の魔手を遁る
苛稅撤廢要求を貫徹

〔天津七日發電〕大公報の成都通信によれば、成都が三軍閥の「管下」に這入つて以來各自勝手に種々なる稅金を徵し、城內に稅關二十餘ケ所を設け重復徵稅するので、商民は其の負擔に耐へず苦んでゐたが捐稅處で良民を銃殺したのを動機として商民の激昂其の極に達し、三月十四日より八十餘の當業者大會を開き、結束して省政府に雜稅取消しを請願したが容れられず、十六日は愈々全市罷業し、市民總出の大示威運動を行ひ「取消苛捐雜貨稅」と大書した旗を先頭に市內大遊行を行つたので、遂にさすがの三軍閥も共に稅捐局の取消承諾等の要求を容れたので十七日より復業した民衆の力を以て惡軍閥に「對抗」して目的を貫徹したのは恐らく之を以て嚆矢とする

人事往來

▲谷永中佐（步兵第○○隊附）七日午後四時三十分南行
▲佐藤中佐（鐵道第○○隊附）同上
▲田所中佐（獨立守備隊第○○隊長）同上
▲忠澤中佐（第二兵站司令官）同上
▲見城少佐（士官學校副官）同上
▲小川少佐（錦東軍線區司令部附）七日午後七時五十分來京
▲坂本中佐（關東憲兵隊司令部附）七日午後十時南行
▲山本少佐（關東軍司令部附）同上
▲公室大佐（チチハル特務機關長）七日朝來京ヤマトへ
▲和久田三郎氏（錦西山撲盟天龍）七日夜來京富士屋旅館へ
▲丁交通部總長八日午前九時奉天へ
▲小磯參謀長八日午後八時歸京

團體

▲滋賀縣師範生三十三名八日午前六時四十分來京同午後零時四十分奉天へ
▲九州帝大生三十分八日午後三時五十分來京同四時三十分吉林へ

在郷軍人の就職 百パーセント近い
新京分會員の數も殖ゐるが 悉く捌けて行く

日進月歩の新京の膨脹につれ、在郷軍人は增加の一方で殊に除隊期直後の一、二、三月の激增ぶりは目覺しいものがある、本年の在郷軍人會新京聯合分會の入會者は一月百名、二月百五十八名、三月百八十七名で合計四百四十五名の增加を見せ眞に心强い限りである、同分會は關東軍司令部内の千輪田大佐を部長とする陸軍省直屬の在滿職業補導部と連絡をとり、就職の斡旋に努めてゐるが本年に入つてからは

	就職希望者	就職者
一月	一六四	一九八
二月	一六九	一五四
三月	一八二	一九四
合計	五一五	三四六

就職率六十七パーセントといふ好成績ぶりで此處にも朗かな軍國の春の一現象が現はれてゐる

禁酒禁煙デー
全滿一齊に行はる

母胎非常の折柄建設氣分に悪く影響された在滿國民の自覺を促すべき試みの第一步として滿鐵地方部滿洲社會事業協會教化團体聯盟主催の下に四月七日を期し一齊に全滿を通じて未成年者禁酒禁煙デーを舉行、若き人よ、酒を呑むなと呼びかけたこの日新京でも市内各所にポスター其他宣傳する等大いに氣勢を擧げた

建築と室内照明
滿電の座談會

南滿電氣株式會社新京支店主催の建築と室内照明座談會は七日午後三時から同支店樓上廣間で開催、新京に本支店を有する主なる建築業者、今春組織された新京の電氣業者代表、滿鐵地方事務所建築技術關係首腦部、主催者側は滿電本店中村營業課長、原口新京支店長以下各係主任出席、原口氏から新京今後の發展膨脹に伴び電氣業者と建築業者は其關係愈々緊密なるを要す可きに鑑み座談會を開催隔意なき意見を交換參考に資し度しと同支店の新方針を先づ纓説し次で中村本店營業課長から建築と照明主として屋内照明の專門的な例を歐米より引き或は日本の進步したるものを取り緊切叮嚀なる講話があり又浦江支店營業主任は建築業者に對して希望を開陳し、原口支店長が司會して來會者の忌憚なき意見、希望を交換したが、其結果電氣業者と建築業者は全く不可分の關係にある認識をいよく深め、斯業者に取つて裨益する處頗る多く非常に有意義な會合であつた、斯くて會談六時に及べど盡きず席を替へ更に膝を突き合せて懇談散會した、因に南滿電氣の從來販賣しつゝあつた電氣器具類の價格が他の個人商店のそれに比し或種の事情で見て高價の嫌ひがあつたが、今春からは其缺點を除き、且つ其取扱ひの範圍を擴め、内外を問はず苟も優良品として推薦の價値ありと認められるものは特約店として或は委託販賣を引受けることとし、既に某々大會社製品社との契約を結び遺憾なき準備を進め近く江湖に發表することゝなつてゐる又新規取扱のシンクロン電氣時計の如き先頃同店の陳列即賣所擴張披露に際したマーケットに見本を出陣したが其精巧正確なる點は在來の電氣時計と異り同店が自信を以て推薦すると云ひ、詳細は同店で實物に就ての説明を見聞されたいとの事であつた

寧安縣當局 掃匪開始

吉林省寧安縣（海林附近一帶）には尚ほ千三百の屯郷匪賊縣内各地に散在してゐるが、縣當局では既にこれ等匪賊の討伐を開始したから近く掃滅される筈である、因に消滅の運命にある縣内匪賊頭目、部下數左の如し

李慶賓　馬隊 一〇〇　歩隊 二〇〇
裴團長　馬隊 一〇〇　歩隊 一〇〇
平南洋　馬隊 一〇〇　歩隊 一二〇
大林子　馬隊 七〇
小青山　歩隊 六〇
飛雲龍　馬隊 三〇
仁義俠　歩隊 七〇
小公平　歩隊 四〇
占北　馬隊 七〇
平東洋　歩隊 二〇
四海　歩隊 四〇
老二哥　歩隊 五〇
雙合　歩隊 五〇
洪勝　歩隊 四〇
混江龍　馬隊 四〇

内、鮮、滿の 連絡荷物打合せ會

五月二十四日より釜山で内鮮滿連絡荷物打合會を開催、鐵道省、朝鮮鐵道局、滿鐵、大阪商船等より代表出席種々荷物の連絡に關する議案を持寄け審議する筈

また狂犬

六日午後二時三十分ごろ市内大和通四十八番地畢振林（三八）が隣家谷芳方の畜犬に噛みつかれたが醫師の診斷の結果狂犬と判明し直に撲殺した

鄕軍分會 聯合會

八日午後七時より吉野町記念館に於て帝國在鄕軍人會新京聯合分會總會を開催四戸分會長以下副會長理事監事評議員出席次の昭和八年度豫算案を審議する筈

昭和八年度新京聯合分會收支豫算（案）

收入之部
一金二千四百三十圓也　總收入
内譯
一金一千圓也　各分會負擔
一金五百圓也　滿鐵及關東廳補助金
一金五十圓也　國庫補助金
一金二百圓也　預金利息
一金一百五十圓也　射撃會費收入（彈藥費）
一金五百三十圓也　前年度繰越金及預金の一部を充當

備考
一、本年度は滿鐵及關東廳補助金は孰れ新京分會にのみ配當せらる筈
二、前項の補助金は明年度以後は聯合分會及分會に分配せらる筈
三、聯合分會創立の當初なるを以て分會事業の一部を聯合分會にて計劃實施す

支出之部
一金二千四百三十圓也　總支出豫算
内譯
一金一百五十圓也　總會及聯合分會發會式費
一金一百五十圓也　射撃會費（實包二回狹搾一回）賞品代稅論費、彈藥費補助
一金六百圓也　書記手當（一名月五十圓）
一金一百五十圓也　陸海軍記念日費
一金一百五十圓也　演習費（記念日及其他）
一金三百圓也　未教育者特別指導費（兵營宿泊其他）
一金一百五十圓也　軍人會創立記念式及武道大會
一金八十圓也　勅諭奉讀式及新年宴會費
一金一百圓也　軍隊慰問費
一金二百圓也　弔慰金
一金八十圓也　諸祭典費（招魂祭誠忠碑永沼挺進隊記念碑等）
一金一百圓也　印刷費
一金七十圓也　文房具及通信費
一金五十圓也　旅費
一金五十圓也　雜費（會議員及車馬賃）
一金五十圓也　豫備費

備考
一、各分會にて八名簿の調製及聯合支部報の補助費を負擔せられ度し
二、聯合分會創立の當初なるを以て分會事業の大部を聯合分會にて之を計畫實施す

佛女流訪日飛行家 ビルマで消息を絶つ

【ラングーン六日發國通】六日午前六時カルカッタ出發バンコツクに向つた佛國の訪日女流飛行家イルズ夫人は夕刻バンコツクに到着の豫定の處六日午前中ビルマのアキャブ通過後消息を絶ち其安否氣遣はれて居る

酉年の春は！ 結婚の年です
正月以來既に十七組

インフレ景氣に輪をかけた新京景氣と結婚には絶好の酉年ときて、はる風の訪れと共に斷然彼氏と彼女とのおめでたが激增し、正にホテムーン氾濫時代をかもし出しさうだ、春は結婚よりと實に朗らかな春だ、新京神社で本年に入つてから行つた神前結婚は十七組、四月になつてからでも既に三組、昨年の四月末は僅に七組しかなかつた、この費用は十五圓から五十圓までだが一番多いのが二十圓見當である、新京日本キリスト教會の神前結婚はあまり知られてない故か一組「しかし會員も殖へ設備が整つたら增加する見込です」と吉川牧師は語つてゐた

石材バラスの山元迄 輕便鐵道を敷設

帝都建設用に充てられる大量の石材、バラスは目下大屯より續々輪送されてゐるが

＝一方＝ 近郊の石山石碑嶺には國都建設局で石材運搬の輕便鐵道敷設工事を進めてゐる、從來石碑嶺の石材は特別市政公署及び南滿礦業の二本のトロ線によつて運搬されてゐたが、今回將來の需要を見越し新たに輕便鐵道を敷設して大量採掘運搬を計ることゝなつたものである、山元は石碑嶺の少し南方に當る同じ嶺續きで石質遙かに優良な小河臺を指定し今度ごしごし採掘すべく、又右輕便鐵道は城内黃瓜溝を基點とし、特別市の外廓線に沿ふて伊通河に出で、安全橋の河上約半キロ附近を横斷して三間房に達し、それより南滿礦業の廢線軌道を乘つて小河臺に出づるもので延長約二十キロ

＝工費＝ 七萬九千六百七十圓、五月末完成するがその竣工は建設事業の促進上非常に期待されてゐる

熱河派遣 警官出發

七日午後十時寺西巡査部長以下二十六名の最初の熱河派遣警官隊は熱河治安維持の重責を擔つて官民多數の見送りを受け意氣軒昂として出發したなほ錦州で各地より集つた警官隊と落合ひ熱河各地へ派遣されることとなつてゐる

第四區町內會 役員改選

新京第四區町內會總會は六日午後長春座で開會役員改選の結果左の諸氏が當選したなほ總會後長春座に財布を風呂敷に包んだもの一個、赤地三越のモスリン風呂敷包一個置き忘れあり、日本橋派出所に保管しある由である

第四區町內會役員當選　四月六日
總代　田中卓二　祝町二丁目　電二一四三
副總代　穴澤喜莊次　祝町五丁目　東部受持　電二六二九
同　久末吉次　蓬萊町　西部受持　電三三六八
同　栃尾捷太郎　東二條通　中部受持　電二三四二
庶務　鵜殿長壽惠　祝町二丁目　電二四八二
會計　栃尾捷太郎　東二條通　電二三四二
町內委員
東部
松岡佐吉　祝町五丁目　電三〇六〇
大原光太郎　祝町五丁目　電三〇三一
峰彪　祝町五丁目　電二三八〇
田中正一　日本橋通　電三〇一六
伊東正夫　同　電三三五七
中野常次郎　同　電三三一〇
西部
塚本謙郎　同
千田三郎　蓬萊町
林田信一　中央通　電二〇七三
柴田正　蓬萊町　電二二二二
廊本捷平　電三一九五
中部
竹內多三郎　官舍　電三七七四
竹內龜太郎　官舍
末定　警察官舍
渡邊伸次郎　鮮銀社宅
四ッ倉宗次郎　東一條通　電三六一六
坂東繁次郎　同
佐藤宇治太郎　祝町二丁目　電
南海象次郎　祝町二丁目　電
木原泰次郎　祝町二丁目　電
山本豐次　祝町二丁目　電
松尾正一　室町二丁目　電
麻生磯平　室町二丁目　電三〇六六
大葉宗善　大和通　電三〇〇五
野又良吉　東二條通　電二七六四
西山庄吾　日本橋通　電三〇一九
西原楠太　祝町三丁目　電二五八七

旅券檢査所設置は 不良分子驅逐策
戸開放は依然國策の基調

滿洲國政府に於いては國内秩序及び國内攪亂を目的とする不良分子の驅逐を偽さんとので國境線主要地點に旅券檢査所を設置する意向を有することは事實なるも右は滿洲國政府が建國以來の政策基調たる門戸開放主義を放棄するものにあらずして滿洲國として檢査所設置後も從來の如く外國企業家と外國資本の滿洲國に來ることを大いに歡迎してゐるところである、現に

＝主旨＝ 顯著なる例を擧ければ營口に於ける英國の綿布工業、北滿に於ける米國ボーランド等の製粉事業等何れも門戸開放の政策と相俟つて漸次盛況になりつゝあり更に大連に於ける輸出は三十一年度に比し本年度は六割輸入は十一割二分の增加を示し船舶數に於いても七十七萬四千六百十八噸の激增を示し稅關收入に於いては前年度に比し十二割二分の增收を示してゐる又支那側に於いては各種の手段を以つて滿洲國向け貨物に重稅を課し居るに拘らず三十二年度に於ける支那船舶の大連入港數は百三十三隻の增加を見てゐる、これ門戸開放主義のしからしむるところで政府は此の際この原則より得る莫大なる利益を捨るものなりや常識を以ても容易に

＝判斷＝ し得るところである、而も旅券檢査所設置問題と門戸開放問題とは全然別個の問題に拘らず最近の外紙が右兩者を關連して兎角の言説をなすが如きは故意に滿洲國を傷つけるものである

吉海瀋海線直通 當分中止

【吉林七日發國通】五日破損した吉林線八十五粁（吉林起點）附近は六日修理完了旅客列車は吉海瀋海兩鐵路直通運行は當分の間中止され七日から記事刻表によつて吉林朝陽鎭間の折返へし運轉が開始された

吉林發　七時三十分
朝陽鎭着　十二時〇〇分
朝陽鎭發　十三時三十分
吉林着　十八時〇〇分

右の爲め直通旅客は聯絡の關係から否應なしに朝陽鎭に一泊せざるを得なくなつた

新京管內 滿鐵人事異動

四月一日の滿鐵人事移動により、新京管內では旅客係龜井象次氏外四名の移動を見たが、この補充として六日社報を以て次の如く辭令があつた

新京鐵道事務所勤務を命ず　福島榮之助
新京鐵道事務所勤務を命ず　花田基
新京助役を命ず　中屋義則
四平街助役を命ず　松田信雄

渉外係一名增員

滿鐵新京地方事務所涉外係員一名增員され奥村榮氏就任九日關係方面を挨拶に回訪した

滿鐵吉林事務所長挨拶

滿鐵吉林事務所長に新任の野中時雄氏同所員新田亮氏は九日來京關係各方面を就任挨拶に歷訪した

ケチな競馬の賞金詐取未遂

新京鐵道北東街十號郭承賢（二二）は去る二日午後三時ごろ競馬場で春競馬第二日第六競馬の附加券九六九三號の末字三號を九に僞作し第四等に入賞を裝ひ賞金を詐取せんとしてゐるを發見され逮捕された

脅喝犯人逮捕

山口縣阿武郡田萬崎村二十八番地住所不定伊藤良吉五一は脅喝犯人として奉天總領事館警察署から新京に取押方手配中の處、犯人が伊奈司睦と僞名し市內東一條通巴旅館に潜伏中を八日新京署員が發見逮捕し身柄を奉天に護送することになつた

白魚の初漁

【安東發】新義州白魚水產組合の白魚の初漁は五日柳草島附近で行はれた、初漁の成績は約五十斤昨年と略ぼ變りがない、茲數日中にははねる樣な新鮮な白魚が國境の市民の食膳を賑すだらう

鴨綠江の 水上交通解禁

【安東發】鴨綠江もすつかり解氷して氷の破片も押流され水上交通の危險がなくなつたので新義州署では五日管內上端洞より柳草島に至る間の水上交通禁止を解除した

中岡艮一 近く假出獄か

【東京發】大正九年東京驛頭で時の總理原敬氏暗殺の中岡艮一は無期の刑に服し入獄來十二年となつたが謹愼の情明なため宮城刑務所長より司法大臣に上申あつたので二十九日の天長節頃に假出獄される模樣である

御六方の御眞影
芝小學校で紛失

【東京七日發國通】今七日朝五時半芝小學校で小使が御眞影奉安室の扉が破壊され居るを發見直に宿直教員が取調べた結果　今上陛下、皇后陛下大正天皇、皇太后陛下、明治天皇、照憲皇太后の御六方の御眞影が紛失し居るを發見大騷ぎとなり直に三田署に屆出た

【東京七日發國通】既報芝小學校の御眞影紛失事件は其後極秘裡に搜査に着手したが幸ひにして御眞影は間もなく職員室の一隅から發見された、原因は職員間の内訌によるに非ずやと言はれてゐる

政民の意見一致
東京市長後任は 牛塚虎太郎氏か

【東京七日發國通】東京市長後任問題は來る十一日の市會に於いて協議會を開いて詮衡委員を舉げ人選に取りかかることになつて居るが之に先だち市會に多數を擁する政民兩派は市長人選に關し種々意見交換の結果元東京府知事牛塚虎太郎氏を推擧するに意見一致、同氏の市長實現は決定的と觀られる

新京日本基督敎會集會（明九日）

一、日曜學校（午前九時から十時まで）
二、朝の禮拜（十時から）絕体を仰ぎて丹羽清次郎先生
三、夕の禮拜（午後八時）イエスも富める青年（外村我郎先生）右盆なる傳道宣敎一般の來聽を歡迎します

日の出を拜する集ひ

日曜學校主催每日曜日に日の出を拜する集ひ九日朝は五時からであると

大內同文書院長夫人 毒藥自殺

【東京七日發國通】上海同文書院長元代議士勳三等大內暢三氏夫人サエ子（四五）は品川區五反田の自宅で病氣を苦にして毒藥自殺を遂げた

けふの銀相場

鈔票　金票　九七四五
大洋　金票　九四六〇
國幣　金票　九五三一〇
大洋　鈔票　九六四八七

范家屯警察署告示第二號

本月十一日當署管内居住者ニ對シ左記ノ通定期種痘ヲ施行ス保護者及義務者ハ指定ノ日時場所ニ於テ種痘及檢痘ヲ受クヘシ
但シ痘瘡ヲ經過シタル者ハ此ノ限リニ非ス
昭和八年三月三十日
范家屯警察署長　高橋重利

記
一、未タ種痘ヲ受ケサル者但シ生後九十日未滿ノ者ヲ除ク
二、第一期第二期種痘該當者ニシテ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者及第一期第二期種痘該當者ニシテ種痘ヲ受ケサリシ者
三、前各號ノ外種痘後滿五年ヲ經過セル者ハ成ルヘク種痘スルヲ可トス

種痘月日　四月十一日　檢痘月日　四月十八日　種痘及檢痘場所　當署講堂

范家屯警察署告示第二號
爲佈告事照開各項施行定期種痘保護者及義務者屆期赴指定場所受種痘及檢痘但除生過天花者
昭和八年三月三十日
范家屯警察署長　高橋重利

計開
一、未受種痘者但除生後未滿九十日者
二、該當第一期第二期種痘受種痘不善感者及第一期第二期種痘該當者中未受種痘者
三、前各項之外受種痘後經過滿五年者務必要受種痘
（日期與日文同）

范家屯區公示 第二號
新京中間區公示 第一號

定期種痘施行ニ關シ左記ノ通范家屯警察署ヨリ告示アリタルニ付テハ該當者ハ種痘及檢痘ヲ受クラルベシ
昭和八年四月八日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

范家屯區公示 第一號

自今當地火葬場ニ於テ火葬執行ノ際ハ左記ニ依リ料金ヲ申受ク
記
十二才以上　金六圓
十二才未滿　金四圓
昭和八年四月七日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長　荒木章

幕末異聞 愛慾火箭

作 瀧川駿
畫 村瀬洗舟

（二十三）

急なお召（三）

『與四郎殿――』

斯う與四郎を呼んだ聲の主は、其の場へぴつたりと平座した。それは城代家老の、堀越主水であつた。

『今日限り當城下から、御退身願ひたい！』

『えつ？』

『何も仰しやるな』

『では、お言葉通り速に、退散仕る。その代りに、今一度殿に拜謁が給はりたい』

與四郎は、今日迎へを受けた時既に、言ふまでもなく覺悟してゐたのだ。

『殿には、御不在でござる』

『何と仰しやる』

意外な言葉に、與四郎はぎよつとして訊き返した。

『昨夜、老中安藤殿の急なお召しに依り、江戸表へ下向なされた』

『えつ』

この聲と同時に、與四郎の胸中には、失敗つたといふ思ひが閃いた。

今は事既に、遲かつた。安藤對馬守のお召とあらば、何の用向か、與四郎には解つてゐた。和宮樣御降嫁に就いての評定か、或はその斡旋役を言付つたか、または、會桑で藩を助けて長藩を京師より驅逐の、用談に外ならなかつた。

『成程、左様でござるか、しからば御免』

かう言つて與四郎が、起ち上つた時であつた。

『暫らく』

『何か、まだ御用がござるか？』

『殿御出立の砌、貴殿へ屆けて呉れと、拙者がお預かり申した御品がござれば、御受け取り下されい』

『え、殿が拙者に』

奇異な思ひがしたが、與四郎は一足退つて、衣紋を直すと、

禮を厚うして、受取つたのは、一通の封書だつた。

『又これなる品は、拙者ほんの貴殿へ餞の印、何卒御受納下されたし』

主水がかう言つて懐中から取り出して與四郎の前に置いたのは、採次郎の弟、喜六が願ひ出た仇討歎願書であつた。

それに添へられたのは、與四郎に取つては秘藏の品、三徳の小柄なので、與四郎は思はずはつと、顔色を變へた。

『左様でござるか』

『有難く頂戴仕る』

堀越主水は、貴殿これなる品に覺えがござるか？　と言はぬばかりであつた。

主水は次の間に向つて、手を叩いた。

『はい』

一人の小姓が、うやうやしく入つて來た。

『用意の品、これへ持て』

『はつ』

小姓が引き退ると、今度は衣紋箱に入れた、一通りの旅立の衣類をその場に置いた。

『與四郎殿、殿の御厚意でござる、有難くお受けあれ』

『はつ』

與四郎の瞼には、思はず熱い涙が溢れてゐた。

『與四郎殿、さらばでござる。御堅固でお暮しあれ、重ねて申すが、御自宅へは、お寄りあらずこの儘お立ち下されい、用意の路銀がござれば何處までなりとも、御意の儘御使ひ下されい』

斯う、言ひ終ると主水は座を起つた。

『何から、何まで行き屆いたる御厚意添仕らず』

その聲は、主水の耳に入つたのか、入らないのか、主水は元の廊下の方へ歩み去つた。

何時の間にか、暮色が廊の欄々の間に忍び寄つて來た。

四月九日　日曜　舊三月十五日　乙巳　大安　除　房宿

●一白の人　旭の昇る如き盛運を呈す企業建築何れも吉　乙さ亥さ寅が吉

●二黒の人　心落付かず萬事手違の起らんさする凶惡日　丙さ庚さ壬が吉

●三碧の人　思案にのみ暮れて物事の運ばざる注意の日　乙さ申さ亥が吉

●四緑の人　運氣平順にして立直りの兆あり著實が第一　乙さ坤さ亥が吉

●五黄の人　表面は悦びある如く見へて内實調はざる日　辛さ壬さ丑が吉

●六白の人　内に在りて根氣強く働くが安全相談事は凶　丁さ辛さ癸が吉

●七赤の人　陰暗内に滿ちて何事なく物事の埒開かぬ日　丙さ丁さ庚が吉

●八白の人　衰運にして物事澁滯し心焦立ち失敗ある日　壬さ丑さ寅が吉

●九紫の人　機先を制して志望成るべし榮達の日出度日　庚さ亥さ壬が吉

新京日日新聞

三錢 一箇月金八十錢 一箇月金五十錢(郵稅)
定價
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話三〇〇番・三三二五番
發行人 河野 忠男
編輯人 松本 啓二郎
印刷人 千谷

實力を以てしても車輛引込みを阻止
蘇聯の態度に全く誠意なく
滿洲國更に對策

滿洲國交通部は蘇聯の東支線車輛引込みに關し屢次引渡し交渉を行つたが、言を曖昧にして更に誠意の認むべきもののなきのみならず又復不法なるトランジットを續行するに至つたので、終始隱忍自重を持して來た交通部も遂に實力を以てしても蘇聯側の不法を阻止せねばならぬとの當然の結論に到達し、七日夜此の趣を現地當局に訓令する處あつたが、滿洲國側としては今後の引込みを阻止するのみならず、更に進んで既に蘇領に引き込まれある車輛の取り戻しについても有效適切なる對策を取る事になつたと信ぜられてゐる、尚ほ滿洲國政府乃至交通部當局は近く此等に關し蘇聯の不法不誠の事實を列擧し、有效適切なる方法を講ぜざるを得なくなつた所以を詳述した聲明を發表するものと如くである

わが日本の租稅制度視察
稅務監督署長一行
來る十一日新京を出發

滿洲國財政部の日本租稅制度視察團一行七名は日本の租稅制度視察の目的で十一日午後四時半新京發大連經由で神戸に上陸することとなつた、一行は直ちに東京に向ひたる後名古屋、大阪、神戸、廣島門司、八幡、小倉、別府等各主要都市を約三週間の豫定で詳細に視察し大連經由二十九日歸讞する事になつて居る、因に右視察團一行は

財政部事務官川畑友吉氏、奉天稅務監督署長王家鼎氏、吉林稅務監督署長啓彬氏、濱江稅務監督署長袁煥濂氏、財政部事務官張玉珂氏、外屬官二名、計七名である

チチハル在留邦人
二千五百名

〔チチハル七日發國通〕水銀柱の上騰に伴ひ解氷期近づくと共にチチハルへチチハルへと乘込む邦人は日増しに増加し三月末現在屆け出でだる者のみにて

戸數　九四四戸
人口　二〇〇四名(男一二八三名、女七二一名)

に達し未屆の者約五百名と見て大體二千五百名に上り昨年同期に比し實に十四倍に達する從つて住宅難は豫想以上である

成の上は一偉觀を呈するであらう

東洋民族の協調を鼓舞す
最近シャムの輿論

さきに滿洲國政府に於ては駐日暹羅公使を通じて暹羅國が聯盟決議に對し棄權をなしたるに付き、右は滿洲國の要望する大アジア主義に一層の厚さをなつてゐる

＝支援＝を與へるものとして感謝し電報を發し、同時に之を契機として滿暹親善の促進を希望したが同國よりの新聞情報によれば

暹羅國は聯盟に於て東洋を維持す爲飽迄中立の立場を持したるは全く東洋の名譽であり東洋民族の爲であつて日支紛爭問題につき、暹羅が棄權したるはアジアにおける泰族が世界に對する重要宣言であると云つてゐる

又同國新聞はアジア廓清を叫び「歐洲人の權力下に＝威服＝を餘儀なくせられたるアジア人に何んの幸福ありや」と論じ日、滿、暹、支の協調の實現を鼓舞する氣運が濃厚となつてゐる

チチハルの忠靈塔起工

〔チチハル八日發國通〕事變以來黑龍江省内における殉難將士の忠靈塔計畫は資金募集も好成績に終り愈々解氷と同時に起工することになり、この程大倉組が一萬九千八百五十圓で工事を請負ふことになつた、竣工期は九月十五日完成の

接治工作委員
辦事處を設置
滿洲國が山海關に

滿洲國政府では滿支國境の臨立により滿洲國領土たることを確認された山海關市街の一部を含む長城線以東地域たる臨榆縣一、五兩區に特別區域を設定することに決定、山海關接治工作委員辦事處を設け戰禍に疲弊せる住民を救濟し政治的訓練を與へて滿支關門の治安を維持、滿洲國王道政治の恩惠に浴せしむることとなり兩三日中に同處長として民政部地方司の三村不二氏が正式任命される筈である

郵便局の出張所
新に二つ増設
近く朝日通と競馬場あとに
擴がりゆく新京局

新京郵便局では最近目立つて激增する窓口のスリ事件に鑑みこれか防止策として何とか新なる方法を講ぜんと

＝考究＝中であるが何をいつても現在の如き狹隘なる廳舍では意の如くならず頭痛鉢卷の體である、現在も二、三名の局員を間斷なく窓口に配して見張させてゐるが月末・月曜日等特に甚だしく混雜する場合は充分の監視が行屆かない爲で、今後は警察署へ依賴して和服刑事をその窓擱を持つてゐる、なほ日毎に延び行く新京の

＝現状＝として一ケ所の局では到底さばききれない程度に增築したとて繁しい客足を緩和する事は困難なので今月中に二ケ所の出張所設置に着手する事となり既に敷地も確定してゐる、それは朝日通の城内境界と現在の競馬場跡でこれが實現の曉は幾分緩和されるものと見られてゐる

米穀委員會

〔東京八日發國通〕農林省では十日午前十時、米穀委員會を開き米穀統制法の報告の後政府所有米百萬石の買換につき諒解を求むと見られてゐる

犯罪が殖ゑる
やつぱり泥棒が一番
三月中の新京署調べ

新京署管内の人口は月を追つて續々增加してゐるがこれとともに犯罪件數も多くなるい、三月中の犯罪統計を見ると發生百二十九件、昨年今期に比すると四十九件の增加をみた、各犯罪別にすると竊盜百件を筆頭に強盜九件、橫領八件詐欺七件阿片二件殺人一件誘拐一件贓物一件である、なほ行政處分に處せられたものは八十六件、內警察處罰規則違反、三十七件藝妓の違反十六件自轉車取締規則違反八件自動車同上、道路取締規則五件、料理店取締規則三件、營業取締規則三件、麻醉劑取締規則三件、銃砲火藥取締規則一件、人力車取締規則違反一件である

五十一名の四人で押合ひ
昨年に比し三倍に殖ゑた
新京領事館刑務所

新京總領事館刑務所における昭和八年四月八日現在の既決未決囚人は合計五十一名に達し、その中既決囚としては詐欺橫領の朝鮮人二名と恐喝罪の鮮人二名の合計四名である

亞細亞民族よ大同團結せよ(三)
趙欣伯

亞細亞民族の團結は世界の公認すべき根據を有す

歐洲大戰後巴里講和會議當時、米國は國際聯盟の規約を修正して彼のモンロー主義を認めしめた、爾後米國がモンロー主義を確立し此處に據つて傍若無人に之を亞細亞に手を伸し、支部に於て經濟的施設の假面を被つて政治的勢力の大進出を企てたのは周知の處である、米國は英國が衰退するに取つて代り覇權を亞細亞に建てんとしたのであつて亞細亞は虎に代ふるに狼を迎へたのである、亞細亞民族が自殺するを好まざる限り、焦眉の急圖は亞細亞民族自ら亞細亞を恢復して平等と自由と繁榮とを享受するに在るであらう、我等も亦歐洲民族同樣に幸福を要求する、權利を有する、而て一切の障害壓迫を排除して此の要求を實現するが爲には亞細亞民族は第一に大同團結を計らねばならぬ

曾て米國のモンロー主義は世界に公認せられたのであるから亞細亞民族が亞細亞の地上に團結して幸福を求むるが爲、他の干渉を、排斥する此の主張は亞細亞モンロー主義とも云へる、我等が此處に至る力を集中して主張するは當然の權利であつて、凡ての方面に發展の道が遮へぎられた亞細亞に還らんとする機は動き其の運動は日々熾烈となり、

亞細亞民族は既に覺醒しつゝある

日露戰爭に於ける日本の勝利は亞細亞民族覺醒の大警鐘であつた。人種的僻見に虐げられ世界の大勢に盲目たるべく強ひられたる亞細亞民族は漸く自己の周圍を顧みて其の屈辱を悟り、日本の活動によりて自己に內在する實力を知り、從つて歐洲諸國が加へたる暴壓より自ら解放して、亞細亞民族の生存の爲に此の外果して如何なる道が殘されて居るか

歐米諸國と雖も之を認めざる程得手勝手な理不盡ではあるまい、假令橫車を押して之を認めずと云も我民族は毫も顧慮するの要なく困難障碍を突破して我民族生存の爲に斷乎邁進するのみである

旣に自己の國土を自己の民族に開放するに成功するもの相次出で來つた。トルコは第一次バルカン戰爭以來屢次の戰爭に惱まされ、日本の戰勝に刺戟されて興つた、青年トルコ黨の運動も祖國を救濟するに至らず、歐洲戰後は苛酷なる條件の下に僅かに小亞細亞の一角に餘喘を保つに過ぎぬ狀態であつたが、之に反抗し國權恢復の爲に立つたのはケマル、パシヤである。ロシアの帝政沒落、聯合國の軋轢に乘じて彼は此の運動を促進し交戰三年餘國民軍が一九二二年アンゴラの一戰にギリシヤを破り延てギリシヤ背後の英國の勢力を驅逐したので、セーブル條約は自然的に廢棄せられトルコ人民の居住領域恢復の第一步を踏み出し治外法權を撤廢する等、歐洲諸國に伍して亞細亞民族の爲に氣を吐いたのである。

親滿義勇軍
秦皇島に迫る

〔山海關八日發國通〕丁强の率ゐる親滿義勇軍は海陽鎭から西進し、逐次支那軍を追ふて秦皇島に肉迫しつゝあり、秦皇島が親滿義勇軍の手に陷るのも近日中と思はれるが英國側は開灤炭坑並に該地一帶の英國の權益が滿支兩軍の衝突によつて侵害される事あるやも知れずとして非常に心痛し、數日前より英國軍艦を秦皇島沖合に碇泊せしめて萬一を警戒して居る

が、未決囚は實に四十七名の多きに達した、その內譯は左の如くである

罪名	內地人	鮮人	合計
强盜	二	四	六
治安維持法違反	二		二
傷害致死			三
過失致死			一
詐欺竊盜			一
阿片及麻醉劑	二		二
詐欺	二	二	四
賭博	一	一	二
傷害	二		二
詐欺橫領	一		一
竊盜	三	三	六
殺人罪		六	六
(吉林領事館より依託の分)			
橫領	一	一	二
遺失物橫領		一	一
公文書僞造	一		一
竊盜橫領	一		一
竊盜麻醉劑	一		一
印鑑僞造詐欺橫領	一		一

昨年までは普通十二三名の在監者であつたものが最近人口の增加に伴ひ犯罪が著しく增加したことを物語るものであらう

三道溝の金鑛
國有に決定

滿洲國實業部では三道溝金鑛を國有金鑛とすることに決定し、同地で無許可で採金中の人夫二千五百名に對し採掘禁止命令を發すると共に當分の間滿洲國軍をして鑛區を監視せしむることゝなつた

熱河の財政狀況
源田氏の談
(上) 滿洲國財政部稅務司長

熱河省財政復興狀態視察及省財政方針確立の爲赴熱通過歸京した財政部源田稅務司長は八日午後二時より國務院で記者團と會見、熱河財政狀態に關し大要次の如き談話を試みた

民國三年初めて熱河に國稅廳の徵稅處を設け民國四年は

＝收入＝百萬元、支出百六十萬元にして六十萬元の不足、恰度軍費だけの赤字を見せ、以後民國八年まで一ケ月六萬元づゝ中央より軍費の補助を受けて居たが民國八年に稅制の改革、徵稅方法の改正を行ひ百八十萬元の收入を得る樣になり、同年より中央よりの援助を斷ち苦しいながら收支の辻褄を合せてゐたが、民國十四年宋哲元等が紛爭を起した爲一時に財政狀態膨脹し二百五十萬元程度の支出より一躍一千萬元となり之に反し收入は四百五十萬元足らずにして

＝結局＝民國十四年十五年兩年には六百萬元の赤字を出し以後湯の時代に入つた、湯は非常に財政に意を用ひ金融整理公債二百萬元を發行、强制的に熱河興業銀行發行票二十に對し鈔票一の割合でこの無利子公債を人民に買はせた、結果民國十六年は收入四百九十三萬元に對し支出四百八十七萬元、約六萬元の黑字となり斯がる狀態を民國十九年まで續けた、民國二十年滿洲事變勃發するや軍費

＝增加＝ト起四し約二百萬元の赤字となつてゐる、本年は支出七百二十萬元收入三百六十八萬元差引三百五十二萬元の赤字となつてゐる、湯時代比較的順調なる財政狀態を維持したのは湯の苛斂誅求により支拂ふべきものを支拂はぬ事に起因してゐる民國十八年より二十年までの徵稅內容は租稅九十六％其他四％同支出內容は軍七十五％行政費二十五％(內人件費六十五％)、從つて

＝軍費＝と人件費を加へると全體の九十三％に及び實際行政費は僅々七％に過ぎぬ

東支鐵道
營業不振

〔ハルピン七日發國通〕東支鐵道は昨年來全線に亘つて營業成績思はしくなく未曾有の大減收を來し之が爲一九三三年度の豫算は未だ編成を完了して居ないが、旣に決定した各機關に對する補助金のみを擧げれば左の如くである

哈爾賓警察廳	三六萬元
護路軍病院	一二萬元
護路司令部	一〇萬元
護路軍	四萬元
法院	七二萬元

法相の優諚問題で
內閣の統制紊亂
却つて內閣の壽命を縮むか

〔東京七日發國通〕小山法相辭表捧呈問題とからみ、閣僚中には辭表執奏手續き及び總理の內申に意見を異にし、小山法相の辭表執奏の場合は一應閣議に諮らるべきだと總理の措置に不滿を抱く者もあり、高橋藏相の進退問題其他を控へ閣內統制は全く紊亂し、此後の時局に對する迫力乏しくなり、今回の優諚問題より一層重大だとの聲高く、齋藤內閣は却つて辭職の時弱を早めたものと觀測されて居る

武裝解除を拒む
在秦皇島の支那兵

〔山海關八日發國通〕在秦皇島第六百二十五團第一營は退去に際し武裝解除を拒み昨日正午まで武裝解除の交渉纒らず鐵道以北の支那街では一混亂免かれぬ形勢となつた

榮中銀總裁
熱河に向ふ

榮中銀總裁は熱河の金融情況視察のため鷲尾理事、鈴木監理課長、久富秘書を帶同、八日午前七時二十分飛行機で新京發錦州經由で承德に向つた一行は三日間の豫定で承德、赤峰、朝陽に於ける中銀辦事處の業務狀況を視察、今後に於ける中銀の熱河金融の根本方針を確立するものと注目されてゐる

吉林黑龍江兩公署 一二〇萬元
路警處 一二萬元
各學校 六〇萬ループル
工業大學 八萬ループル
總計 二六六萬元
六八萬ループル

之を前年度に比すと殆んど大多數は減額の厄に會つた結果になつて居る

安東より
移動警察配屬

從來新義州警察署に配屬されて居た移動警察班、即ち列車乘込班三十一名は新年度より平北道警察部高等警察課に配屬された、配屬になつた理由は、事務の敏速と統制を圖る爲めで從來は身元照會も外國人の旅券發給も一々新義州署から道警察部を經由して居たのであるが今後は直屬であるから夫れだけの手數と時間とが省かれる譯である

當分小包は延着

內地から安東への通常及び小包郵便物は朝鮮經由遞送されてゐるが今後當分の內、小包は全部、通常郵便物、官報日刊新聞紙を除く全部は下關より船便にして大連經由に變更された、從つてお郵便物は從來より遲着する事となり不便となるわけである

背後調查團歸る

滿洲國主催の東邊道全般に亘る安東背後地調查團は三月初旬安東發寬甸、桓仁、通化を經て撫順を經、一ケ月に亘つての各種調查も終るので愈よ六日午後九時三十分着列車にて歸安した

九大旅行團吉林へ

四日滿洲視察のため新京に到着一泊の後ハルピンに向つた九州帝國大學々生一行三十名は本八日午後三時三十五分同地より再び新京に到着、直ちに四時三十分發の十七列車で吉林視察の途に向つた

一人一話
文明の缺點
山田わか

今日の文明卽ち物質文明は、不完全極まるもので、この不完全極る文明が、今日の世界を斯の如く不安の極度に陷れてゐるのである。だから今日の世界の極度の不安は、卽ち科學文明の生み出したその缺點であると言へる。科學のこの缺點が除かれなければ、世界の不安が除去される事はない。科學文明完成の時期、それはいつの事であらう。

安東から

けふの天氣南西の風晴八日の氣溫最高十度最低零下一度

經濟欄
海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
同 遠限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナコンダ株 [illegible]

▲綿花
●米綿
現物 三月限 五月限 七月限 十月限 十二月限 一月限 [illegible]
●印綿
ブローチ オームラ ベンゴール [illegible]

▲上海票金
作値 高値 安値 本寄 步値 [illegible]

▲上海倫敦向 [illegible]
▲上海紐育向 [illegible]
▲上海日本向 第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲大連鈔票
現物 近付 寄值 步値 第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲大連上海向
引出 高値 安値 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日英爲替
賣値 買値 [illegible]

▲阪神日米爲替
第一回 第二回 第三回 [illegible]

各地市場

▲大坂株式
株 新鐘 紡新 大大國 [illegible]

▲同 短期
新 新 新東 大鐘 [illegible]

▲大連株式
品 五 豆新 錢鈔 [illegible]

▲大阪三品
●大阪期米
●仁川期米
●横濱生糸
●神戸豆粕
●大連特産
●大豆 ●豆粕 ●高粱 ●豆油
▲哈爾賓特産
●大豆 ●小麥
▲大連麻袋
▲カルカッタ麻袋

新京市況

大豆 現物 出來高
小豆 現物 出來高
鈔票對金票
大洋對金票
國幣對金票
大洋對鈔票
青鐵爲替 節休

日滿スポーツ統制
諸族融和の爲
それぐ參加を求む
兩案折衷の國籍案が最有力

第一回全滿体育係連絡會議、第二次建國記念運動會の前奏曲も華かに訪れたスポーツシーズン!!指導的立場にある關東軍、滿鐵、滿洲体育研究所並びに滿洲國

『育体』協會は問題の日滿スポーツ統制に關し夫々名案を練つてゐるが、現在迄の有力說は

一、日滿体育協會合同說
二、白紙にかへつて個人を基調さする日滿同志會設置案
三、滿洲國內諸族融和を計る爲「スポーツ國籍」を設け國內居住民族に限り滿洲國体育協會に參加を許し更に同協會を擴大強化する案

以上三案であるが第一、第二案に關しては過日來議論沸騰せる所なるも右

『折衷』說たる第三案出するに及んで俄然有力視され、建國精神に最も相應しい好個の日滿スポーツ統制案さして各方面から注目さるゝに至つた、而之が最後的決定は林田体育協會主事及び山本体育研究所主事の來京を待つて行はれる模樣である

新たに豫算も計上して
陸上競技界に大飛躍
滿鐵運動會新京支部が
愈よ猛練習を開始

滿鐵運動會新京支部では本年度陸上競技に目覺ましい躍進振を見せやうさいふので、滿早大名選手本野仁治氏を中心に、近く同部員一同猛練習を開始するこさゝなり、トラツクも此際全日本競技聯盟の公認さすべく目下本社を通じて運動中であるが七日の

『役員』會においても特にこれが豫算を新たに計上し非常な意氣込みであるが、まづ手始めさして來月七日大連滿鐵運動會に於ける沿線各地八百リレーに選手を派遣し覇權を爭ふこさゝなつた、昨年は遼陽が優勝の榮冠をかち得たが本年はぜひ新京の手に歸すべく既に目算がある模樣である、なほ七日の役員會において決定した八年度豫算額は三千七百八十圓で前年度より四百圓增加した、これは前記競技部豫算が新たに計上されたゝめで同支部さして全く初めてのものであるが

『豫算』內容は次の如くなほ今後は各部の年度中の成績如何によつて次年度の豫算を決定するこさに申合せが出來たので今後の成績については極めて注目されるものがある

八年度豫算額

▲收入の部會費一、八六〇補助金一、九〇〇、雜收入二〇、合計三、七八〇

▲支出の部＝運動會費八三〇、陸上競技部四〇〇、劍道部四五〇、柔道部三八〇、庭球部(軟)四六〇、庭球部(硬)二一〇、弓道部二三〇、水泳部一二〇、氷滑部一三〇、体育ボール部二一〇、庶務費一〇、野球部五四〇、合計三七八〇

新陣容も整ふ
本年度の役員決定

なほ滿鐵運動會新京支部本年度役員は左の如く決定、八日發表された（◎印は主務幹事〇印は同代理）

支部長　荒木章
幹事長　中山昭世
庶務幹事　野村茂共
會計幹事　紅谷武一
幹事（順序不同）

陸上競技部　(商)德田大(地)山內敬二(女)中園正雄(鐵)穗阪靜雄◎(驛)本野仁治(機)北門一雄〇(販)淺野龍夫(病)高木迪郎(列)多田敏男(吉)田澤禮二(驛)大塚力

一、柔道部　(列)中橋正太郎(商)末永賢次〇(室)東剛豐雄◎(驛)川劍孝(保安)岡藤清(販)草場芳男

一、劍道部　〇(商)佐藤倉之助◎(地)谷川金太郎(驛)石橋敏夫(鐵)生野德行(列)高武英

一、野球部　(用)古米宜治◎(地)川上武治(鐵)高橋勳一(驛)澤公太郎〇(列)杉田俊雄

一、庭球部(軟式)　(列)大串常次(地)辛島文雄(檢)小林金作(驛)貞盛三男〇(吉)佐藤九眞男◎(保安)羽根友治(鐵)龜井象次(公)川田隆太(室)吉出清

一、庭球部(硬式)　〇(地)稻眞太郎◎(鐵)白石末治(販)根岸隆三郎

一、弓道部　〇(販)吉田得美(檢)山下幸作(檢)松元清(驛)山口義人◎(地)津村德太郎(列)中村千秋

一、氷滑部　〇(列)藤好佐一郎◎(地)貝津丸秀雄(女)山本芳智(室)平川法行(驛)福元弘(販)靑木太郎(鐵)笹木章

一、水泳部　(地)松田武彥(女)板野高明(公)西本哲〇(室)渡邊亮(驛)高橋威◎(保安)馬場雄(列)松田信雄

一、体育ボール部　〇(地)兒玉武士(女)中園正雄(室)間瀨信昌(吉)佐藤幸作〇(驛)服部貞幹(機)中野隼太(鐵)笹木章(保安)武田政吉(列)上田辰雄

寶庫開發の
熱河資源調査
兩三日に全部出發

熱河省へ寶庫開發を目指して組織された熱河資源調査團の先發班は既に目的地に向け出發したが、更に兩三日中には殘餘の各班全部調査行動を開始する事になつた

右調査團は農業、牧畜、林業、鑛山、一般經濟の五班に分れ、各部門は何れも滿鐵の專門技術家が依囑により調査を擔當し匪賊其他の障害無い限り大体一ケ月で調査完了の豫定であるが、此の結果報告によつて秘寶境熱河の眞價が明かさなる譯で調査結果は各方面の異常な興味さ、注意を集めて居る

牛疫が
豚に飛火
農民大恐慌

〔安東發〕北中各郡に發生した牛の口蹄疫は、殆ご毎日の如く續發し、四日の如きも牛五十五頭發生、累計八百四十四頭に上つたが、更に鳳城部では豚に飛火して去る四日、八頭の病豚が發見された、該病は傳播が非常に早いので、附近の畜豚に傳染し忽ち道內に擴がりはせぬかさ憂慮されて居る、牛の搬出が杜絕して大打擊を受けて居た所に持つて來て更に豚にまで及べば地方農民の經濟上の打擊は想像以上であらふさ

齒科醫が
自殺をはかる
愛妻に生き別れて

八日午前二時三十分ごろ市內三笠町二丁目二番地齒科醫高川伍一氏假名は劇藥を多量に服用し苦悶中を家人が發見、直ちに同仁病院に收容應急手當の結果

『一命』は取止めたその裏面には云ひ知れぬ哀話がひそんでゐる、氏の愛妻は東京神田區の某旅館の娘であつたが、かつて氏が東京の某大學に學んでゐるうち二人は知合さなりつひに樂しい春が訪れ結婚式をあげ、二人は新京の自家にかへり齒科醫を營んでゐたさころ愛妻さ姑さの仲に面白からぬものがあつて、常々

『不和』を生じ、その結果昨年十月ごろに愛妻を離別するに至りそれ以來悶々の日を送つてゐたものでつひに厭世自殺を企たものらしい

新京聯合分會
更に五分會に分つ

帝國在鄉軍人新京分會では新國都新京の發展に伴ひ從來の組織を改革、更に充分なる機能の發揮を圖るため、豫てより準備中であつたが今回その名稱も新京聯合分會さ改稱これを五分會に分ち從來記念館內にあつた分會を本部さして各分會の行動を活潑にするさ共に今後その事業に一層の

安東稅關な
ほ停滯

〔安東發〕安東稅關貨物派出所では四日早朝より突然鑑定科を廢止し、現場檢查所に併合して輸出入品全部の檢査を爲すこさゝなつたが、これが爲め通關運搬業者間に多大の痛手で、就中昨今の如く到着數量激增の際一層荷捌き上に停滯を來す等、貨物係においても中繼貨物の繼送遲延の恐れあり腐心の態である

發展を期するこさゝなつた、因みに同會の役員制度を會長一名、副會長二名、理事五名監事三名さし現在會長の任には四戶友太郎氏が當つてゐる

まあ！なんと……？
春・エロの誘惑
市內の婦人便所を漁り步き
獨り悅に入る若者

春の訪れさもに不良青年少女が跋扈してエロ、グロを各所に發散しこれが取締に當局は惱されてゐる、今日このごろはやくもエロ味をおびた、

『犯罪』が發生した八日午前十時頃新京署池泉刑事滿鐵醫院附近を密行中、內地人風の靑年が同醫院婦人科便所の汲取口に停んでゐるを發見し不審を抱き取調べるさ、右は鳥取縣生れ市內三笠町一丁目十六番地滿鐵社員東憲作（二〇）假名で直徑三寸餘の丸鏡一個、ナイフ一個を所持してゐた、同人は本年某中學學校を卒業し直に滿鐵に入社したが性來變態で在學時代からよからぬ

『行爲』をなしてゐたもので最近又々陽氣につれ惡性を起し劇場、病院等の婦人便所を片ツ端からあさり步き、汲取口をナイフで、こぢ開けて鏡を入れ、獨り悅に入つてゐたものである

歸來した
丁士源氏の縱橫談
七日午後記者團と會見席上

丁士源氏主催で卅餘名の記者座談會が七日午後四時からヤマトホテルに開催されたが、一同は丁氏の健闘に祝杯を奉げ、直ちに丁氏のユーモラスな半年の旅行談が續けられた、氏の博識さ話上手は聽く者を魅し、二時間に垂んさする長廣舌に心醉させられた

氏は先づシベリアの旅の印象から語り出し、古都モスコーは嘗て訪れた時さはまるで變り果て、四百四十の寺々から響き渡つた夕の鐘りの鐘も聽き得なかつたのは物足らなかつた事や、カラハン氏さの會見の模樣等を語り、ワルソーでは十五世紀の古典的な氣分を滿喫し、伯林巴里では

『舊知』に面會したが、其間同國の重鎭ブレスマン等に滿洲國建設の經緯や滿支の關係を歷史的に說明したが、これが例證さして衣裳哲學論を以てした、現在の支那服は滿洲人によつて一八八〇年に考案されこれが一八六〇年支那領土へ移入されたもので、滿洲國は支那を同化したので、本質的に支那本土さ別個の存在だ、リツトン卿は滿洲に來て殆ご支那服に眼を奪はれ、滿洲人即ち支那人さ判決したのは歷史を知らぬ證據だ、リツトン卿の秘書アスター氏なごは調查資料六十八噸を蒐集しながら、勿論之を讀破する意思や努力もなく、例へ調查團が研究しても東洋の哲學、歷史、政治の觀念を正確に把握するこさは至難だつたらう、調查團さへこのやうな狀態だから聯盟舞臺に動く各國代表は何等日支紛爭の眞相を研究する事なく徒らに解決案の形式さ聯盟規約の尊重に終始し滿洲問題の參考資料はリツトン報告書がコーランであり

『聖書』であつて、それに偏見を混ぜたのが今度の結果さなつたのだ

さて調查團や聯盟の甚しき認識不足振りを明かにし歐米人は滿支經濟關係は把握す可からざるものだから、滿洲に對しては支那が宗主權を行使せねばならぬさ主張するが、之には次の反駁を爲すを常さした、即ち經濟關係さ政治を混合されては困る、では債權國は、債務國へ宗主權を持ち得る珍現象を誘ふではないかさ。又歐米人の拔くべからざる先入主さして滿洲國は傀儡國ださ思つてゐる、之に對してはシエクスピアの一節の「世界は舞臺だ」を引用し其處に存在する各國政府は觀測角度如何によつては何れも人形だ、英國の保守黨もよいし、勞働黨の傀儡ださ謂つてもよいし、要は國際的にも國家は操り人形さ喝破してやつた

聯盟總會失敗の原因は

一、日本の承認を理事會が遺憾さする醜事記錄を殘したこさ
二、昨年末まで歐米は戰債問題や軍縮問題に沒頭してゐたこさ
三、リツトン報告を神聖視し過ぎたこさ

の三にある

サイモン氏が英國下院でリツトン報告書は北平で書かれ、而も病院で執筆された、暑熱に神經を痲痺した他の委員は只管山へ海へさ想を走らせて會議み飽けた結果があの報告書なのだ、さ極めて皮肉な諷刺を試みたのは愉快だつたさ述べ、此他支那代表さの興味ある壽府での論爭談や、歸途の旅行物語りを回想的に口をついで語り、スチブンソンの旅行記を想はしむるものあり、六時半懇談會を終つた

亡國病から
滿洲をすくへ
結核豫防デーの
準備着々進む

來る二十七日は日滿兩國に於ける全國的結核豫防デーであるが、滿洲は結核國のナンバーワンたる日本內地よりも結核患者多く內地の四五倍を算し、年々の患者は五六千に上る、殊に首都新京は結核患者の死亡率多く一昨年は七〇二名の死亡者中八十六名、昨年は八〇四名の死亡者中八十名の結核死亡者數を示し略々一割を占めてゐるので新京警察、滿鐵病院では當日を期してあらゆる宣傳方法により亡國病結核を撲滅すべく目下準備中である

臨時海軍
防備隊員
十日朝來京

臨時海軍防備隊々員〇〇〇名は十日午後六時四十分新京驛着來京、うち〇〇名は新京駐屯〇〇〇名は同午前八時四十分發列車でハルビンへ向ふ

協會脫退後最初の
滿洲興行
下視察に天龍來る
八百長は絕對にやらないと
脫退の經緯など語る

世人の視聽を集めてゐた東京日本、明撲協會の紛爭龜裂の爲、いさぎよく脫退獨立した天龍一行の滿洲興業は既報の通り新京では來月早々華々しく開催するが、その下視察さして天龍は七日午後七時五十分着のハト號で來京直に富士屋旅館で

『旅裝』をさいただが旅の疲勞も見せず元氣で記者に語る

既に御承知の如く私等一行が日本相撲協會脫退後最初の渡滿興業で、ごうしても皆樣方の力强御後援にあづからねばならない、宜しく御願ひいたします

さ冒頭し協會脫退について左の如し述べた

我等が相撲協會脫退の原因は三千年來の國技さして世界に誇つてゐる我等の相撲道は表面から皆樣方が御覽になる樣な

『立派』なものでなく甚だ殘念な事ではあるがその內面に到つては目も當てられぬ程びん亂しきつて居り、甚だしくは太鼓持同然の待遇々受けつゝあつたので、この儘で押進めば將來に於ては必ず傳統的な我等の相撲も沒落の悲運に遭遇する事は火を見るより明い事で、我等同志はその內容の改革を要求した、處が協會の方では若僧が何をこしやくなさ云ふ樣な腹で御承知の通りの紛爭を來たしだのである然し我々は

『最初』の意志を何處迄も押通す考で遺憾ながら淚を呑んで脫退したのである、そして協會側の相撲さ混合せぬ樣に角力者の誇りであるマゲを切り永年傳つて來た橫綱、大關等の名稱を廢してABCさ改稱したのでモダン的でいやに新しがりであるさ世間の誤解を招いたのである、然し現在では又以前の通りの名稱にしてあます勝負も我等は一日ごさに優勝を定めて力ある

『試合』を見せる樣にしてゐる

協會側の如く地方巡業が成績に關係せぬ樣ではごうしても八百長になるので私等はごんな田舍の興業でも全部成績に關係するので絕体にそれはありません來月早々一行が乘り込んで來ますから萬事よろしく御願ひします

天龍來社
挨拶のため

大日本關西角力協會の天龍は來月初旬頃新京で興行するに就き同會顧問安達士門氏、辯護士法學士中里義美氏同道八日挨拶のため本社を來訪した

在留地の
徵兵檢査
出願期日改正

關東州又は滿洲國に在留する者の徵兵身体檢查出願期は二月二十八日であるが本年は三月三十日付官報で陸軍省令第八號に依り四月十日迄さなつた、從來でも期限外の出願は事情により四月上旬まで許可されてゐたが時局に際し諸種の意味から止むを得ぬ事情のものが頻出し、殊に最近就職等の爲め來住したものに長日數を費さしめ、經費を投ずるのは妥當でないさいふこころであらう、此際該當者は當局の意をくみ期限までに出願するがよい

荒木章氏が
新京少年團長
上原瀨川兩校長を副團長に
けふ推戴式を擧行

新京少年團は今回の地方事務所長荒木章氏を團長に推戴し前團長室町尋常高等小學校長上原松豐氏さ西廣場小學校長瀨川順平氏の兩氏を副團長に推戴に決しその正副團長推戴式を九日午前十時から新京神社境內で擧行い、尚、當日滿洲事變同團關係功勞者に對し御下賜品の傳達式が擧行される、その順序は

△第一部一、全員集合二、喚閱三、國旗揭揚君ケ代一唱四、神宮皇居遙拜

△第二部團長副團長推戴式一、開式の辭二、團歌「花はかをる」三、前團長挨拶四、團員代表答辭五、新團長挨拶六、團員代表答辭七、閉式

△第三部御下賜品及感謝狀傳達式一、開式の辭二、御下賜品傳達三、感謝狀傳達四、團長訓示五、祝辭いやさか三唱六、解散

因に新京少年團も時代の推進に伴ひ愈々陣容を新にして益々團勢の擴充を圖るさ共に、「日滿兩國の親善は先づ少年から」をモツトーに近く結成される滿洲國新京童子團さも提携して目的に邁進するさ

ハイフオン
に無事着陸

〔ハイフオン〕佛領印度支那七日發國通〕カルカツタよりバンコツクに向け飛行の途中一時行衛不明を傳へられた、佛國の訪日女流飛行家マリイズ・ヒルツ夫人は七日無事佛領印度支那ハイフオンに着陸した

集會

新京日本基督教會

一、日曜學校（午前九時から十時まで）
二、朝の禮拜（十時から）絕對者を仰ぎて（丹羽清次郎先生）
三、夕の禮拜（午前八時）イエスさ富める青年（外村義郎先生）有益なる傳道實數一般の來聽を歡迎します

吉凶禍福

△新京日本[illegible]部氏長女典子三日出生

婦人と家庭

初めて學校へ上つた子供のお母さん達へ
學校を愉快な遊び場所に

今年初めて學校へ上つた子供を持つ多くのお母さん達はきつと「今日は學校で何を覺えて來たの?」と質問されるでせう。これは一つには自分の母らしい喜びから、また一つには自分の子供が如何に優秀であるかをテストしたい慾望からの自然と口をついて出る言葉でありませう。

▲……▲

お母さんとしたら別段子供を責める心意でないこの質問も、子供から考へると毎日何か必ず覺えて歸らなければならぬやうな義務に似た重荷を感ずることになり、それが苦痛になつて學校はイヤな所といふ考へを不知不識の間に起さぬとも限りません。

ですから一年のうちは、ただ面白く遊んで來ればよい。先生にもなじみ、他の子供達とも仲よく學校といふものが本當に愉快なところであるといふ感じを起させるやうにして、決して子供心に無理な重荷を負はせぬやうにするのが却つてよいと思はれます

脱ぎ捨てた冬物の洗ひ張り
これだけの注意が肝心

いよく單衣の時が參りました。冬中着通した着物をそのままほつて置きますと、汚れのために布をいためるばかりではなく、後から後から澤山たまつてつい臆劫になり、充分手入れが行きとどかないのをしまふ様になりますから脱いだらすぐに洗はねばなりません。洗ひ張りするにはまづほどいてみて切れてゐる所かうすくなつてゐる所を縫ひます、それからきれいにお洗濯してから張り板にはるのですが、裏を出してたたみ、糊の中へ浸す時も表の方へ糊カスなどが出ないやうに注意して板の上に擴げるのですそれから手で叮嚀にのばすのですが、この時手で強くこすつてはいけません、絹物なら絹布、木棉物なら木棉で上を輕くこすつてのばすのですなほのばす時に注意することは、まづ中央の所を最初にのばして板につけておいてから兩はしは手で押へるやうにして行くことです、でないと兩はしのみがのび過ぎて布の形を崩してしまひます

次に張り板は、張る前にきれいに濡れた布で拭いておかねばなりません、それはごみや砂などが着いてゐたりするばかりではなく、濡れた板に張るといふことが必要なのです

新しいお櫃の
木の香はどうして抜く

新婚の家庭等で總べての家具が新しくまだ木の香が何處かに漂つてゐるのは、さながら生活の前途が祝福されてゐる様で大變よろしいものですが、飯櫃だけは新しいのは木の香が御飯に移つて困ります。

長い間には自然に抜けますが、何にしたすぐに御飯を入れて食べるものですから、さう長く香が抜けないでは困ります、それにはお櫃の中へ米糠を入れて二週間位おくと香はすつかりとれます。又燈心を二握りほど入れて熱湯をお櫃に一ぱい注ぎ込み一週間ほどそのままにしておくのもよろしい。或は又桐の木の鉋屑も同様の効果があります。

雁右衛門一座 十日開演

中村雁治郎直屬の中村雁右衛門、市川眼笑、中村菊太郎、同梅七、同成幸、林男長、市川河十郎、中村成榮、同雁二、同菊藏、同多磨五郎を幹部とする五十余名の關西大歌舞伎が突如十日と十一日の兩夜長春座で開演することゝなつたこゝは既報の如くであるが、一行は大連劇場の招聘により同地で開演すばらしい好評を博したのは充實した内容の純歌舞伎劇が久しく觀られなかつたのとその熱のある、演出が道頓堀で觀るに等しく華やかなのに因つたものと噂されてゐる、長春座ではお夏清十郎、老役の政岡、松王下屋敷、紙治等を上演に決定してゐるが、そのおもなる配役は左の通りであると

清十郎と伊達綱村と松五と紙屋治兵衛に雁衛門、源十郎と家老と玄蕃と太兵衛に菊太郎、九十郎と鳴繪島とおえんに男長、手代徳七とお千代に春幸、大蓬五郎次郎、沖舟と小春に梅七、お夏と山脇主税と善六と多磨五郎、藝妓おこんと屋深雪と大左衛門と丁稚に河十郎、九左衛門と政岡と孫右衛門に眼笑

海の外から

□棒巻きの長尺物の測り方

米國ニユージャージー州ニユーワークに住むW・F・スザヤホースト氏の數學的新發表に依れば、綿布、羅紗、紙類、綱類、針金類等總て棒巻きに圓めてある商品の全長を其の儘にして知る事が出來る簡易な方法があるさうな、即ち棒巻きの半徑に卷き數を乘じたものに再び〇、二六一八を乘ずれば宜いと(但呎で計算)

□自動車内のスウヰツチ仕掛

最近米國では自動車の運轉台に電氣應用の目的を有するスウヰツチ付のボタンを設備してゐる、例へば鉄部窓にカーテンを下す必要の場合、疾走しながらボタンを押すとカーテンが下る、その他何でも出來て至極便利

鮮魚小賣相場

活鯛 一八一 二〇五　氷鯛 一二〇 三九
チヌ鯛 一二五 三六　選子 四五
アマ鯛 一三五 三六　マグロ 四〇 九九
サワラ 四〇 四五　スヽキ 二六

カレイ 一三　ヒラメ 一四〇
ボラ 一三〇　オコゼ 二六
ムツ 一二〇　アブラメ 二〇
グチ 一二　クジラオハ 四八
フカ 一八　タコ 一七 二〇
甲イカ 一三 七〇　水イカ 五七
イセエビ 五五 九六　車エビ 四一 四五
アナゴ 二五　アワビ 四五 六〇
カキ 二五　ハマグリ 一三
シジミ 一〇　カマボコ 一一 一六
チクワ 六八　ホシ 一九

野菜相場

新京市場小賣相場表 四月九日「菜果之部」

種別 値段：白菜、サツマ芋、山芋、ツクネ芋内地、蓮根、丸大根、玉葱、生姜、ワサビ、玉菜、馬鈴薯、ユリ根、セリ内地、春菊大連、林檎、天津梨、テーブル
八 四 四 三 一〇 〇八 二〇 一五 一六 一四 〇六 〇八 〇九 二〇 一二 一六〇 一五〇 〇五 〇四 〇三 〇二 二五〇 一五 〇三 一〇三 一五 一二 四〇

種別 値段：蓮草大連物、里芋、赤芋内地、牛蒡、白大根「大連」、赤大根、人參、ウド、内地葱、カブラ大小、水菜同、ミツ葉大小、ワケギ内地、胡瓜内地、内地梨、ミカン、西瓜
一一 一〇 〇八 一五 〇五 〇四 〇八 〇六 〇六 二〇 三〇 三〇 二〇 一〇 〇八 一〇 〇八 二〇 〇五 〇五 一二 〇五 一二 一八 一五 一二 二〇

ホームラン 王助ポン助
(十四)

1 エンヤサノ コラサ ナカナカ ツカレルゾ ダイブ ヒイタゾ。
2 ウアツ チカラニ マケテシマツタ タイヘン ナコトニナツタ。
3 ヒユウ ドカン キヤンキヤン コリヤア ウマクイツタゾ。
4 サア ミナサン コレデバンパンイ コレカラマタ カツヤクダ。

連載小説 黒船往來

映畫化上映及上演　(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第五十四回

濱千鳥(九)

優しい和人――松井白軒を逃すために、痩身の旅侍磯貝武七郎と烈しい格闘を演じ、つひにその手にかゝつて笹小屋の土間に昏倒したうたひ女のフラメは、小一刻もたつて、やつと息を吹かへした。

息を吹きかへしたが五體の關節がベラ／＼になつてしまつたやうに身動ぎもできなかつたので

――畜生！　狼奴！

と、薄い唇をゆがめ吠えるやうに笹小屋の戸口の方を向いて叫んでゐた。ジンマの腰のものは千切れ、晒木綿の肌襦袢も痛々しげに引裂かれ亞麻色の髪を振亂し見るも無慘な爭鬪のあとを止めてゐる。

――畜生！　和人の盗賊奴！

さんざんの惡態である。けれどいくらほえてみても、その狼も盗賊もフラメの視野からは消えてしまつたのちだつた。

で、フラメは、ほえることをやめて努力して立上がつた。彼等のあとをおはうとするのだ。

ふら／＼と戸口までよろけるやうに足を運んだが、何を感じたものか、その時ふたゝび壁端の方まで引返し壁に架つてゐる機弓と小刀をはづして來た。それから女らしく、亂れた髪の毛を兩手で無造作にすきあげ千切れた肌襦袢を脱ぎ棄てゝ同じく壁にかゝつた裾短な單衣のアツシに着替へた。

フラメは、それで仕度が萬端とゝのつたといはぬばかりに急いで戸外へ飛出した。小刀の紐を細帯にはさみ機弓を小脇にいつさんに白沙のうへを素足のまゝかけた。

が、ニゴリナイの廢村は字義どほり廢村だつた。瀬戸の笹小屋が砂地にはつてゐるが、砂原にも霞道にも沙丘のかげにも人影一つなかつた。空も海もくつきり青く砂地はあくまでも灰白色に輝きマウニの實の果熱が甘酸つぱい香を四邊に漂はしてゐるだけで、いきり立つフラメの感情に應へる如

物も口に出なかつた。

――狼たち奴、おれのオキキリムイを、どこさおひ込んだべか。

夢中に、東風泊の方角へ駈け一みたフラメは、さうつぶやくと、急に立停まつた。

――やさしいオキキリムイは忍路さ行くといつたかあの狼たは高島から來たのだから……。

しかし、フラメの直感は、どうしても高島の濱だつた。かの女は踵を返し、亞麻色の髪を海風になびかせながら、こんどは高島の方を指して膝も露はにかけ出した。

優しい和人の松井白軒を、どうでも救つてやらねばならぬ烈しい熱情が、いま奔流のやうにかの女の身内にたぎつてゐる。

無我無中に駈けて、やがて、ヤソシユケの崖道へ差かゝつたとき、丁度高島の方からもすた／＼此方へ急いでくる人間があつた。

彼はフラメの異様な武裝姿をみるなり、あたりにとどろくほどの大聲で叫んだ『おう、フラメ！』

しかし、驚く當人の方がいつさう異様な風俗だつた。眼の大きく窪んだ額のひろい髭髪長髯の、いづれはこの邊のアイヌにはちがひないが、その服裝はまつたく同族のものではなく、紅毛碧眼の水夫の平常着だつた。しかも筒袖の襦袢を五寸ほども折まげ、だんぶくろの裾も充分に折まげ、軍艦のやうな皮靴をはいてゐるさまは、むしろ滑稽味が充分だ。

その異様なアイヌ老人が崖のうへに立どまつて遠くからくるフラメに呼びかけたので、はじめてそれに氣がついた。『あら親方！』

『お前機弓持つてとこさ行かね』

『親方一緒に來てくれたしやれや』

フラメは、いきなりアイヌ老人の右の手首をつかんだ。

『たから、とこさ行くかね』

『高島さ行くのたよ。狼たちからやさしいオキキリムイを取返すのたよ、親方、はやく、はやく――』

電話	
二五〇四	支店長支店長代理
二九三一	庶務係
三三〇一	倉庫金融係
二一三三	船積係
三三四六	東支線發着係
二六六五	經理係
三四八五	小口發送（南滿吉長吉敦）市內運搬
三〇五九	專用線荷役所
二六三八	專用線荷扱所
二五一〇	日ノ出川倉庫
三三九一	馬車部
三一一五	華工事務所
二二九六	寬城子荷役所
三三七九	支店長宅
三一七六	支店長代理宅
二七四三	作業係主任宅